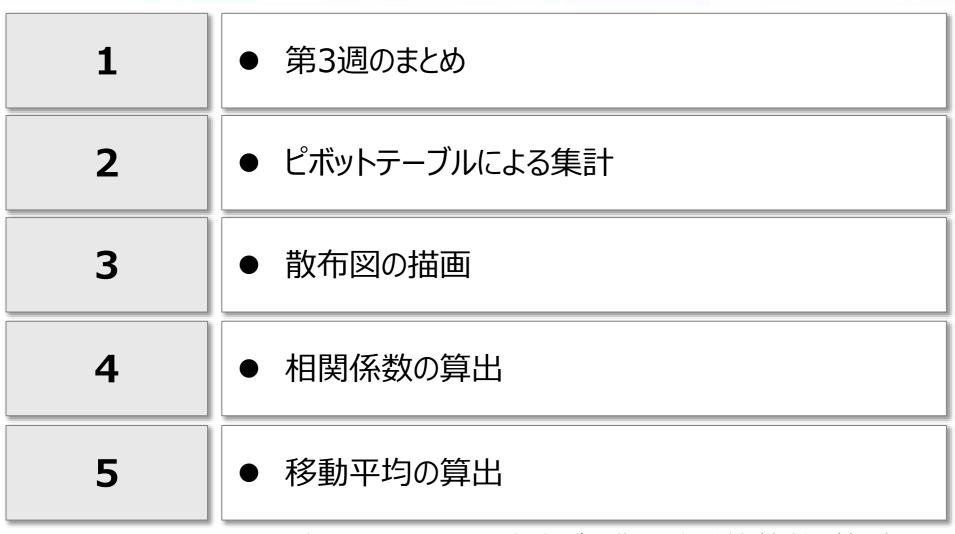


社会人のためのデータサイエンス演習

第3週:課題の補講 Excel分析演習

講師名:橋本 武彦

第3週の内容紹介



- ※Microsoft®, Microsoft® Office Excel® は、米国 Microsoft Corporation の, 米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ※本資料は、Microsoft Corporation と提携しているものではなく、また、Microsoft Corporationが許諾、後援、その他の承認をするものではありません。
- ※本資料の本文では、©、®、™などの表記は割愛いたします。
- ※本資料ではデータ分析ツールとして Microsoft® Office Excel® 2013 を利用しています。
 Microsoft® Office の他のバージョンや他の分析ツールを利用している場合は、ヘルプやインターネットなどで各自で調査し、該当機能に置き換えて参照してください。

1.第3週のまとめ

比較と傾向の分析

クロス集計 / 散布図 / 相関 / 時系列

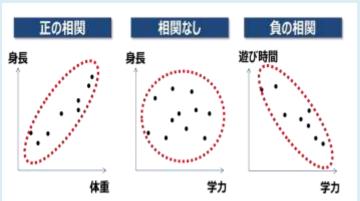
上段: n 下段:%	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		計	
ファミリー層	200,000円	100,000円	300,000円	
	67%	33%	100%	
単身層	180,000円	180,000円	360,000円	
	50%	50%	100%	
計	380,000円	280,000円	660,000円	
	58%	42%	100%	

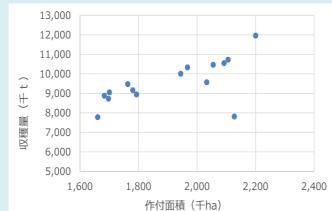
- 可視化が重要

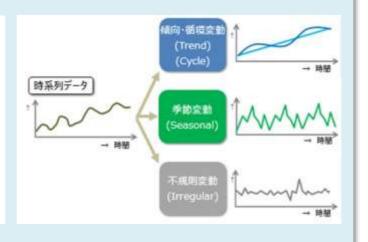
- ✓ 変数の関係性把握 ✓ 解釈が容易に
- ✓ 外れ値の除外

- 時系列は分解する

- ✓ 将来予測が可能



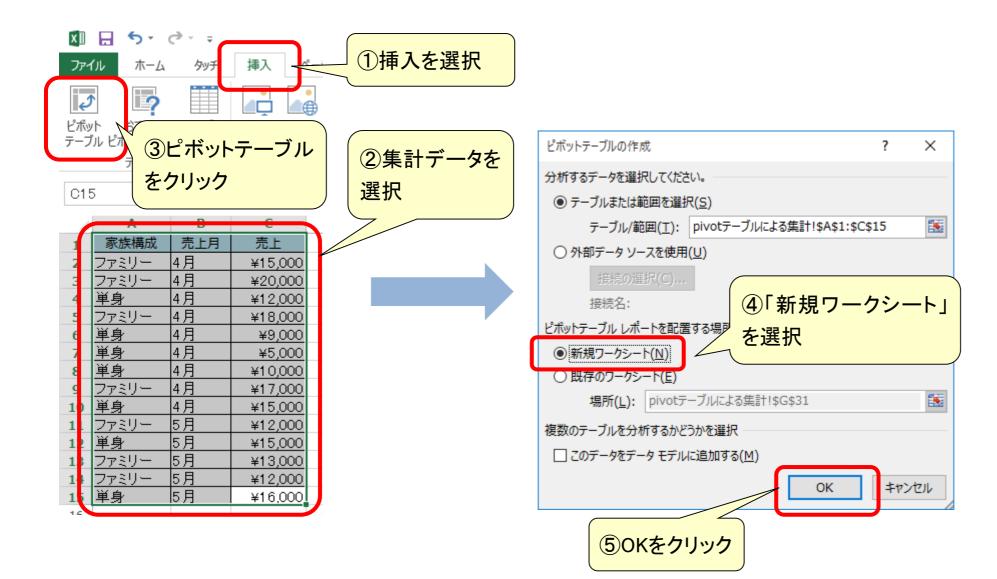




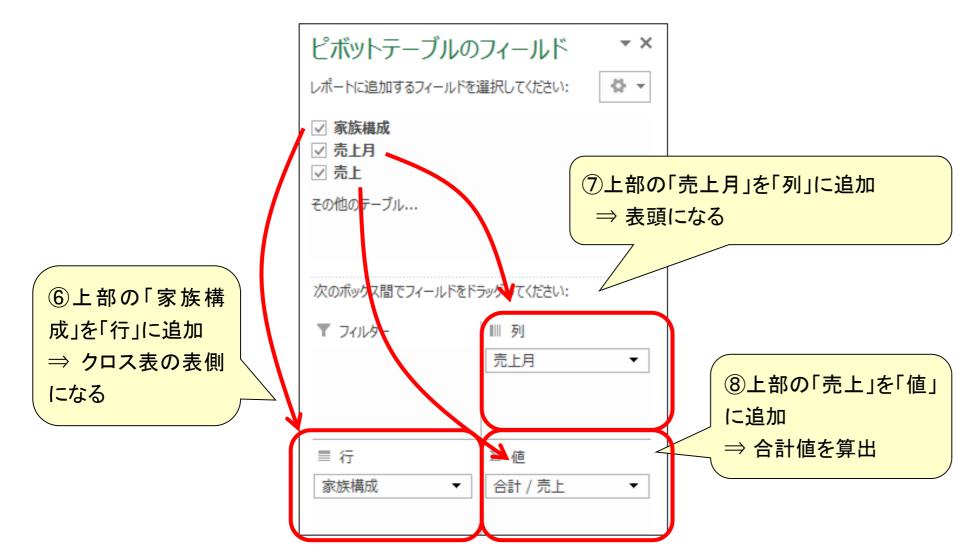
- 下表のような売上を示すデータがあります。
- クロス集計を行い、4月と5月で、ファミリーと単身者の 売上に違いがあるか観察します。

	Α	В	С
1	家族構成	売上月	売上
2	ファミリー	4月	¥15,000
3	ファミリー	4月	¥20,000
4	単身	4月	¥12,000
5	ファミリー	4月	¥18,000
6	単身	4月	¥9,000
7	単身	4月	¥5,000
8	単身	4月	¥10,000
9	ファミリー	4月	¥17,000
10	単身	4月	¥15,000
11	ファミリー	5月	¥12,000
12	単身	5月	¥15,000
13	ファミリー	5月	¥13,000
14	ファミリー	5月	¥12,000
15	単身	5月	¥16,000
40			

1)Excelのピボットテーブルという機能を使って、表頭に売上月、表側に家族構成を表示する集計表を作成



3) 集計軸を設定し、各セルの合計値を算出 Excelの右側に表示されるピボットテーブルのフィールドから、上部フィールド をドラッグして下部に追加し、以下のように設定



4)続いて、売上の値フィールドから計算の種類を選択して割合が表示されるように 設定

⑫名前を「割合 / 売上」に ⑨さらに「売上」を「 変更する 値北追加 Σ値 ■行 値フィールドの設定 家族構成 合計 / 売上 ⇒ 割合を算出 ソース名: 売上 合計 / 売上2 Σ値 名前の指定(C:割合/売上 集計方法計算の種類 ③「計算の種類」を 計算の種類(A) 選択 行集計に対する比率 ⑩下部の列の 計算なし 総計に対する比率 「値」を行に移動 ✓ 売上 列集計に刈りる比率 その他のテーブル... 基準値に対する比率 上へ移動(U) 親行集計に刈りる比率 下へ移動(D) でフィールドを 先頭へ移動(G) ⑪「合計/売上2」の▼ 末尾へ移動(E) 表示 OK キャンセル ▼ レポート フィルターに移動 をクリックして表示され ■ 行うベルに移動 るリストから「値フィー Ⅲ 列ラベルに移動 ①SOKをクリック 値に移動 ルドの設定」を選択 ★ フィールドの削除 (4)行方向の割合を算出する場合、 **値フィールドの設定(N)...** 家族構成 合計 / 売上2 ▼ Σ 値 「行集計に対する比率」を選択

5) クロス集計表が出力

2					
3	列:	ラベル 🔽			
4	行ラベル ▼ 4月		5月	総計	
5	ファミリー				
6	合計 / 売上	70000	37000	107000	
7	割合 / 売上	65.42%	34.58%	1 00.00%	
8	単身				
9	合計 / 売上	51000	31 000	82000	
10	割合 / 売上	62.20%	37.80%	1 00.00%	
11	全体の 合計 / 売上	121000	68000	189000	
12	全体の 割合 / 売上	64.02%	35.98%	100.00%	
12					

- 全体の売上では5月に低下
- ファミリーと単身の総計では単身の方が売上が低い
- ファミリー、単身ともに、ほぼ同様の割合で5月の売上 が低下

3. 散布図の描画

● 水稲の作付面積と収穫量の関係を、散布図を描いて観察してみましょう。

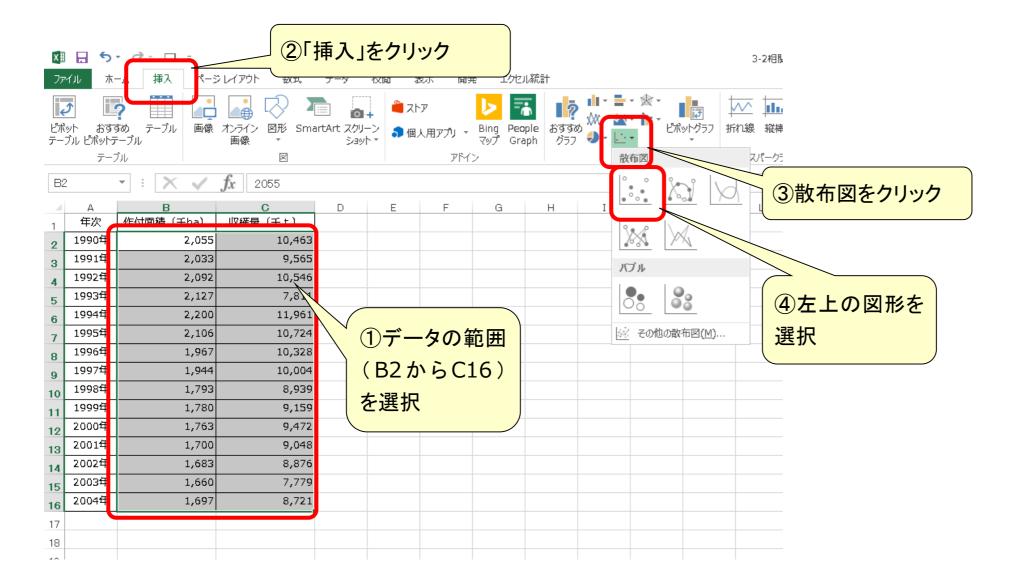
1)Excelで、右のような表を作成。 X軸に示したい項目のデータをB 列、Y軸に示したい項目のデータ をC列に設定

- 4	Α	В	С	D	
1	年次	作付面積(千ha)	収穫量〔千t〕		
2	1990年	2,055	10,463		
3	1991年	2,033	9,565		
4	1992年	2,092	10,546		
5	1993年	2,127	7,811		
6	1994年	2,200	11,961		
7	1995年	2,106	10,724		
8	1996年	1,967	10,328		
9	1997年	1,944	10,004		
10	1998年	1,793	8,939		
11	1999年	1,780	9,159		
12	2000年	1,763	9,472		
13	2001年	1,700	9,048		
14	2002年	1,683	8,876		
15	2003年	1,660	7,779		
16	2004年	1,697	8,721		
17					
18					

出典:農林水産省 作物統計より作成 http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020103. do?_toGL08020103_&tclassID=000001024932&c ycleCode=0&requestSender=dsearch

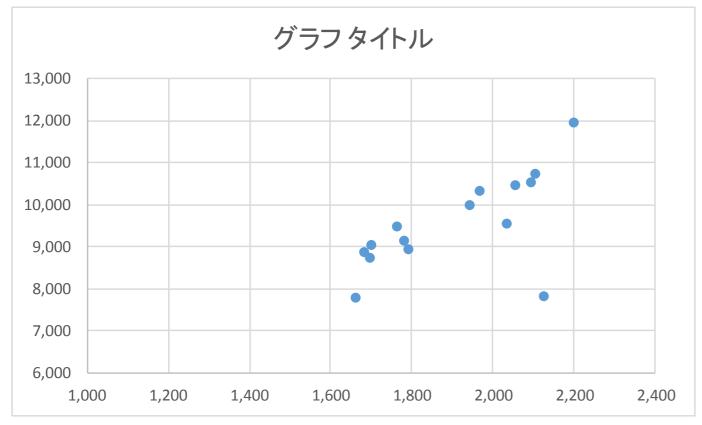
3. 散布図の描画

2)ツールバーの「挿入」をクリックし、データの範囲となるセルB2からセルC16まで を選択して、グラフツールの散布図を選択



3. 散布図の描画

3)グラフ描画



※上図は結果が見やすいように軸の目盛りを変更している

- 右肩上がりの形状 ⇒正の相関
- 外れ値が存在

4.相関係数の算出

● 次に、相関係数を算出してみましょう。

1)散布図を描いたデータと同じ データを用意

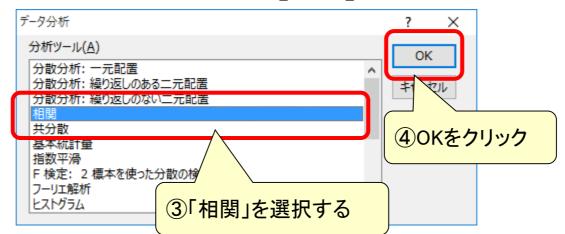
- 4	А	В	С	D
1	年次	作付面積(千ha)	収穫量〔千t〕	
2	1990年	2,055	10,463	
3	1991年	2,033	9,565	
4	1992年	2,092	10,546	
5	1993年	2,127	7,811	
6	1994年	2,200	11,961	
7	1995年	2,106	10,724	
8	1996年	1,967	10,328	
9	1997年	1,944	10,004	
10	1998年	1,793	8,939	
11	1999年	1,780	9,159	
12	2000年	1,763	9,472	
13	2001年	1,700	9,048	
14	2002年	1,683	8,876	
15	2003年	1,660	7,779	
16	2004年	1,697	8,721	
17				
18				

出典:農林水産省 作物統計より作成 http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020103. do?_toGL08020103_&tclassID=000001024932&c ycleCode=0&requestSender=dsearch

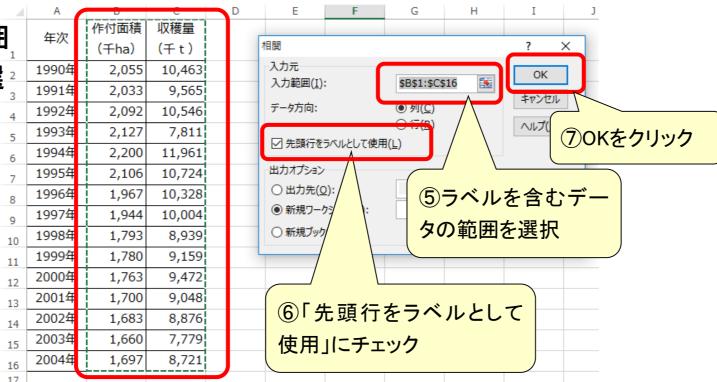
4.相関係数の算出

1)データ分析ツールを起動

2)ダイアログが表示されたら[相関] を選択



3)[入力範囲]にデータ範囲₁ であるセルB1~C16を選² 択



4.相関係数の算出

4)相関係数が出力



● r=0.65程度 ⇒中程度の正の相関

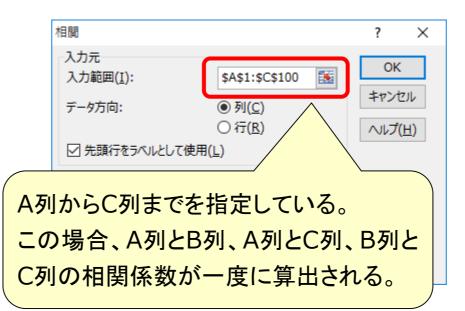
【補足1】

分析ツールアドインではなく、関数 で算出することも可能

=CORREL(変量1、変量2)

【補足2】

分析ツールアドインでは、3つ以上の変数を対象に、それぞれの相関係数を一度に算出可能

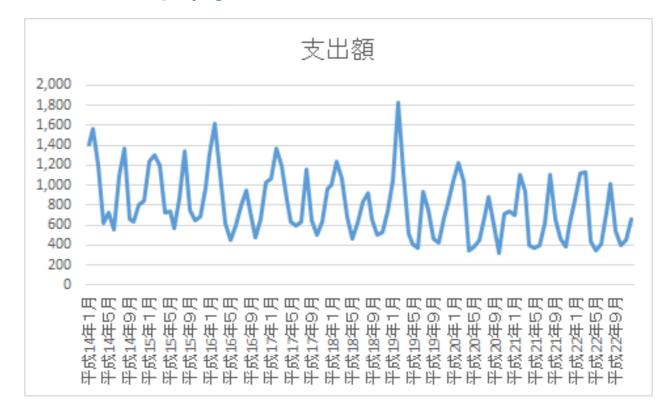


支出額

下の図表は自動車教習料の支出額を時系列に示したも のです。12ヶ月移動平均値を算出して季節変動を除い たグラフを作成してみましょう。

	1 / 2	У СШ В Л	
	平成14年1月	1,405	
	平成14年2月	1,563	
	平成14年3月	1,198	
	平成14年4月	617	
	平成14年5月	720	
	平成14年6月	560	
	平成14年7月	1,091	
	平成14年8月	1,369	
	平成14年9月	655	
	平成14年10月	631	
/			
/	平成22年2月	1,114	
/	平成22年2月 平成22年3月	1,114 1,136	
	平成22年3月	1,136	
	平成22年3月 平成22年4月	1,136 438	
	平成22年3月 平成22年4月 平成22年5月	1,136 438 344	
	平成22年3月 平成22年4月 平成22年5月 平成22年6月	1,136 438 344 410	
	平成22年3月 平成22年4月 平成22年5月 平成22年6月 平成22年7月	1,136 438 344 410 724	
	平成22年3月 平成22年4月 平成22年5月 平成22年6月 平成22年7月 平成22年8月	1,136 438 344 410 724 1,016	
	平成22年3月 平成22年4月 平成22年5月 平成22年6月 平成22年7月 平成22年8月 平成22年9月	1,136 438 344 410 724 1,016 543	
	平成22年3月 平成22年4月 平成22年5月 平成22年6月 平成22年7月 平成22年8月 平成22年9月 平成22年10月	1,136 438 344 410 724 1,016 543 395	

年月



出典:総務省 家計消費状況調査(二人以上の世帯)より作成 http://www.stat.go.jp/data/joukyou/12.htm

平成14年1月

平成14年2月

平成14年9月

平成14年10月

平成14年11月

平成14年12月

平成15年1月

平成15年2月

平成15年3月

平成15年4月

平成15年5月

平成15年6月

平成15年7月

平成15年8月

平成22年11月

107 平成22年10月

109 平成22年12月

平成14

平成1

平成14

平成1

平成1

平成1

В

支出額

に設定

1,405

1.563

631

804

841

1,235

1,300

1,197

729

744

573

872

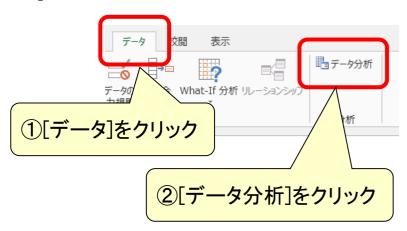
395

450

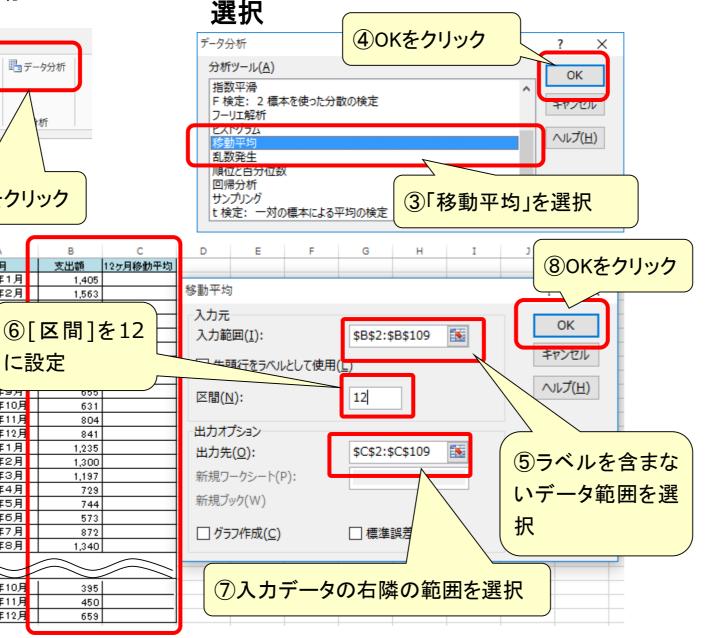
659

1,340

1)データ分析ツールを起動



3)[入力範囲] に 支出額の列を指 定し、[出力先] に C列を指定する。 また区間を12に 設定

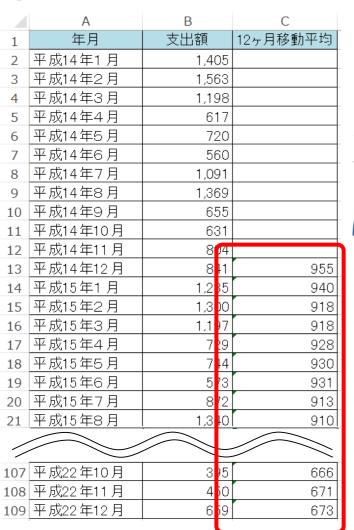


2)ダイアログが表示されたら[移動平均] を

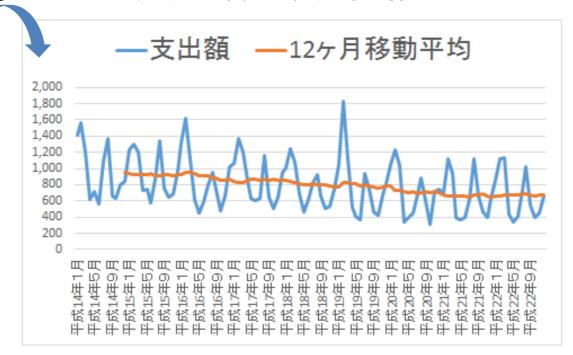
4)12か月移動平均が算出される。

※分析ツールで求められるのは後方移動平均。

※各月とそれ以前の月の平均値を使って算出する移動平均を「後方移動平均」という。



グラフ化 すると **支出額は、減少傾向**



【補足】分析ツールアドインではなく、関数で算出することも可能

4	Α	В		С		D
1	年月	支出額	12	2ヶ月移動 平均		5月中心化 多動平均
2	平成14年1月	1,405			1	
3	平成14年2月	1,563			Ĭ.	
4	平成14年3月	1,198				
5	平成14年4月	617				
6	平成14年5月	720		1		9
7	平成14年6月	560		Θ		
8	平成14年7月	1,091			\sim	947
9	平成14年8月	1,369				929
10	平成14年9月	655				918
11	平成14年10月	631				923
12	平成14年11月	804				929
13	平成14年12月	841		955		930
14	平成15年1月	1,235		940		922
15	平成15年2月	1,300		918		911
16	平成15年3月	1,197		918		914
13-			$\overline{}$		_	

100				
101	平成22年4月	438	680	668
102	平成22年5月	344	678	668
103	平成22年6月	410	679	672
104	平成22年7月	724	688	
105	平成22年8月	1,016	680	
106	平成22年9月	543	671	
107	平成22年10月	395	666	
108	平成22年11月	450	671	
109	平成22年12月	659	673	

①12ヶ月移動平均(後方移動平均)

各月における過去12ヶ月間の平均値

C13I = AVERAGE(B2:B13)

C14I = AVERAGE(B3:B14)

.

C109I = AVERAGE(B98:B109)

②12ヶ月中心化移動平均

各月を中心にした12ヶ月間の平均値。月数は偶数のため、区間を1ヶ月ずらした平均値を2つ求め、両者の平均を取る。

C8I=(AVERAGE(B2:B13)+

AVERAGE(B3:B14))/2

C9I=(AVERAGE(B3:B14)+

AVERAGE(B4:B15))/2

.

C103I=(AVERAGE(B97:B108)+

AVERAGE(B98:B109))/2